



(2) 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
塩酸ロペラミド	塩酸ロペラミドの効果が減弱するおそれがあるので、両剤の投与間隔をあけるなど併用に注意すること。	本剤の吸着作用によると考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1) 重大な副作用

ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明)を起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、荨麻疹、顔面浮腫等の過敏症状あるいは気管支喘息発作等の症状が発現した場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

種類、頻度	頻度不明
長期・大量投与 ^{注)}	肝障害
消化器	便秘、食欲不振

注)長期又は大量投与を避けること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

【取扱上の注意】

配合変化:アルカリにより分解する。抱水コロラールやヨウ化物と混合すると湿潤する。

止瀉剤

日本薬局方

タンニン酸アルブミン

ALBUMIN TANNATE

タンナルビン「ヤクハン」

製造販売元

ヤクハン製薬株式会社

北海道北広島市北の里27番地
TEL&FAX 011-373-1097

使用期限

製造番号

GS1-RSS

(01)14987322136002

JAN

4 987322 136005

日本標準商品分類番号	872312
承認番号等	20400AMZ00951000
薬価収載	1992年7月
販売開始	1992年7月
再評価結果	1981年8月

〈貯法〉 気密容器

500g

2008年6月改訂(新バーコード表示に伴う改訂等)

【禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 出血性大腸炎の患者[腸管出血性大腸菌(O157等)や赤痢菌などの重篤な細菌性下痢患者では、症状の悪化、治療期間の延長をきたすおそれがある。]
- 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者[本剤投与により過敏症状が現れることがある。]
- 牛乳アレルギーのある患者[ショックまたはアナフィラキシー様症状を起こすことがある。]

【原則禁忌】

(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)
細菌性下痢患者[治療期間の延長をきたすおそれがある。]

【組成・性状】

1. 組成

本品1g中、日局タンニン酸アルブミン1gを含む。
本品はタンニン酸と蛋白質との化合物である。蛋白質はカゼインである。

2. 製剤の性状

本品は淡褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがある。
本品は水又はエタノール(95)にほとんど溶けない。
本品は水酸化ナトリウム試液を加えるとき、混濁して溶ける。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
下痢症	タンニン酸アルブミンとして、通常成人1日3~4gを3~4回に分経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
肝障害のある患者[肝障害を悪化させるおそれがある。]

2. 相互作用

(1) 併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
経口鉄剤	両剤の作用が減弱することがあるので併用をしないこと。	鉄と結合しタンニン酸鉄となり、タンニン酸による取れん作用が減弱する。